

特 104  
859

大正十年十月第一版

佐賀縣下に於ける

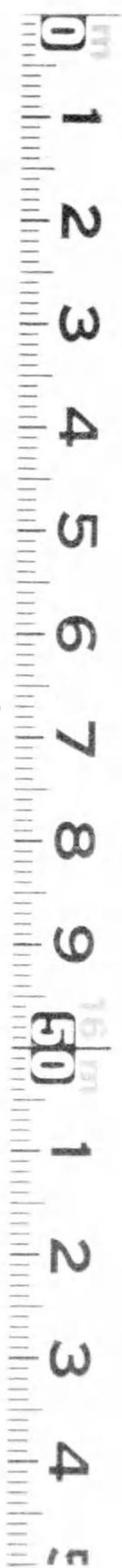
稻荷様印

# 貯米袋の實驗報告

附 大分縣に於ける本品宣傳の實情

大阪防水紙布製造所

研究部



# 始



7304  
337



大正  
11 1 8  
2 2

※※

目次

はしがき

一、模倣さるゝものゝ誇り……………一

二、弊所製品發賣の主義方針……………二  
佐賀縣西松浦郡大坪村篤農家  
前田雄次郎氏方に於ける實驗報告

一、桑名博士の出馬迄……………三

二、佐賀から伊萬里迄……………五

三、實驗の光景……………七

四、貯米袋に對する前田氏の感想……………一〇

大分縣に於ける本品宣傳の實情

一、ある防蟲袋を試用したが……………一四

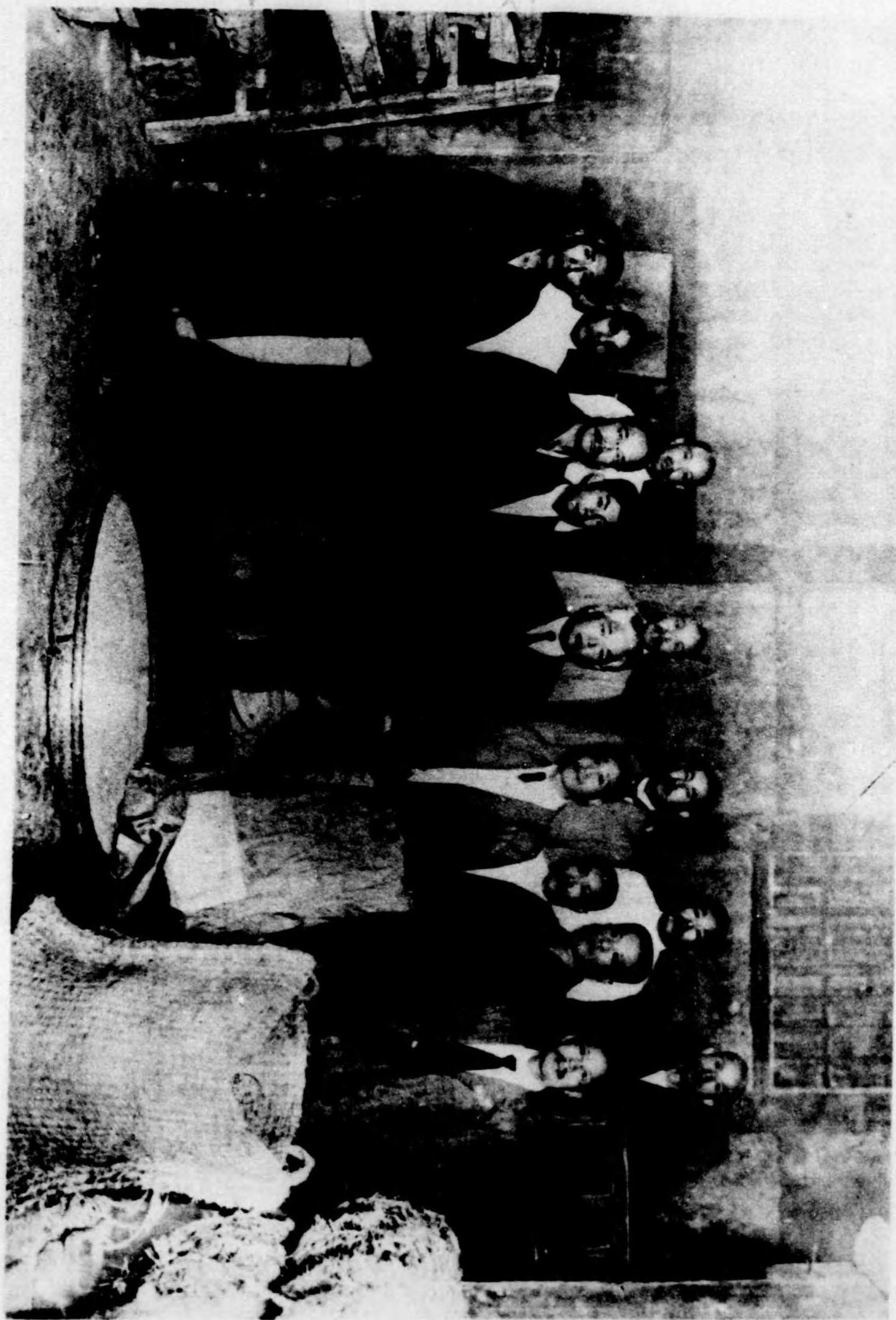
二、其結果は案外駄目であつた……………一四

三、稻荷様印貯米袋は斯様な前轍を踏むことは無い……………一五

※※

※※

行104  
859



大正  
10 11. 8  
内交

深  
露

深  
露

目次

一、この防露板と費用したが  
二、五枚板は意外駄目であつた  
三、相対露印の出来は新録の前巻と随分と異なつた

大分露しあがりたる本誌宣傳の實情

一、この防露板と費用したが  
二、五枚板は意外駄目であつた  
三、相対露印の出来は新録の前巻と随分と異なつた

深  
露

深  
露

### 寫眞版の説明

此の人物寫眞版は、佐賀縣西松浦郡大坪村爲農家前田雄次郎氏方倉庫に於いて、大正九年産小作米を同年十二月二十日、稻荷様印貯米袋にて内装貯藏せるものを、大正十年九月二十三日開依に際し、其實地檢証に立會せる諸氏の紀念撮影なり。實地檢証の結果、農商務省植物檢査所長農學博士桑名伊之吉先生は、内容米の品質光澤につき異常なきを認められ、在來幾多の保米袋、防蟲紙等に比し、最も卓絶せる優良品なることを讃賞せられたり。俵の棧俵の部分には多數の穀蟲潜息したるにも拘はらず、内容米は

極めて安全にして、何等蟲害の跡なきは、實に貯米袋の實質堅確なるを立證せるものにして、立會干與諸氏の均しく驚嘆せられたる處なり。前列向て左より、貯穀者前田雄次郎氏、佐賀縣穀物檢査所技手山崎哲次氏、西松浦郡長樫田三郎氏、佐賀縣農事試驗場技手兒玉覺氏、桑名農學博士殿、大阪防水紙布製造所主任科秀雄、佐賀縣產業技手松尾英雄氏、貯米袋佐賀長崎兩縣代理店主松尾富一氏、佐賀縣屬諸石兵藏氏、後列向つて左より西松浦郡農學校教諭池田白二氏、佐賀縣西松浦農學校長江口圓次郎氏、佐賀縣產業技師田山貢氏、佐賀縣西松浦郡產業技手戸上信次氏、穀物賣買精米業松尾權六氏。

大阪貯水紙布製造所製  
登録商標稻荷印貯米袋

### 試験成績報告

(大正九年一月十七日俵裝)  
(大正九年十月五日開俵)

農商務省農事試驗場畿内支場

區別	總重量		全上		一升重量		全上		總容量		全上	
	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量	減耗量
稻荷印貯米袋入	一四、〇四六	一、二七四	一、二七四	三三、三〇〇	三三、三〇〇	二、二五	三、七八一	三、九一〇	〇、九九	一四、八八一	〇、四三九	三、八、五
標準	一四、〇四六	一、二七四	一、二七四	三三、三〇〇	三三、三〇〇	二、二五	三、七八一	三、九一〇	〇、九九	一四、八八一	〇、四三九	三、八、五
區別	供試	支米	精	米	減耗量	精	米	減耗量	精	米	減耗量	精
標準	重量一升ノ重量	容量重量	重量一升ノ重量	容量重量	重量一升ノ重量	容量重量	重量一升ノ重量	容量重量	重量一升ノ重量	容量重量	重量一升ノ重量	容量重量
袋入	一貫五、〇〇〇	三、三〇〇	一貫五、〇〇〇	三、三〇〇	一貫五、〇〇〇	三、三〇〇	一貫五、〇〇〇	三、三〇〇	一貫五、〇〇〇	三、三〇〇	一貫五、〇〇〇	三、三〇〇

上記二表ニヨレバ稻荷印貯米袋入ハ、之ヲ標準  
(普通俵裝ノモノ)ニ比スレバ、玄米一石ニ對ス  
ル損失量三升少ナク、精米トナスルハ其差更ニ  
大ナリ。今之レヲ計算スレバ左ノ如シ。  
玄米一石精白率

標準 〇、九四五×七九、三〇〇 精米 〇、七四九四  
袋入 〇、九七五×八五、三〇〇 精米 〇、八三七  
即ハチ玄米貯藏ニ當リ、之レヲ稻荷印貯米袋ニ  
入レ置クトキハ、否ラザルモノニ比シ、一石ニ  
對シ、精米八升二合強ヲ利スル割合ニ當ル

### 前田雄次郎氏よりの來狀

拜啓時下秋冷の候益々御繁榮奉大賀候。陳者弊方從來集得小作米は、土地の關係上、米質不良にして穀蟲に侵害され易く、此の防蟲策として多年種々考究罷在候へ共、二硫化炭素は却つて手敷を要するのみならず危険多くして、結局實際上の不便を免かれず、又保米袋、防蟲紙等の類も昨年迄は使用致し候へ共、是亦廣告紙所載の如き蟲害を免かる程度には効能無之、結局蟲害は不得已事と斷念致し居候處、昨年十二月貴所御製造に係る稻荷様印貯米袋を、當地代理店より試験的に二十枚購入仕り、全月二十日俵裝貯穀致し置き候。本年七月梅雨後倉庫内を点檢仕候處、意外にも右貯米袋を使用せるものは、俵裝面にも何等異狀無之に、普通俵裝のものは俵裝面殊に棧俵の部分に多數の穀蟲の綴りを發見致し候に就き、試みに各二俵づ、開俵致候處貯米袋の分は内容米の品質光澤に於て異狀無之は勿論、蟲害の痕跡すら無之候、普通俵裝のものには、多數の穀蟲侵入せること例年の通りに御座候。仍而普通俵裝の分は其後直ちに賣拂らひ貯米袋使用の分のみ、弊方自家用として其のまゝ貯藏致し今後の経過を承知致度所存の處、去る九月二十三日農商務省植物檢査所長桑名農學博士并に田山佐賀縣技師其他縣郡當務諸官の立

會開俵を懇望せられ候間、同日午前八時半、弊方倉庫内に於て開俵検証を遂げ候結果、内容米は去る七月開俵の時と同様に、何等異狀無之、今摺米同様の成績には、一同驚嘆仕候次第に御座候。此の試験を以つて小生積年の蟲害憂慮の念は一掃せられ、僅少なる袋代のみにて多大の損失と手数を免かれ得べきことは確信致候。御承知の通り、毎年梅雨後の貯藏米は蟲害の結果、市價下落するのみならず、米穀商は此の弱点に乗じて益々不利なる商談仕候間、賣主としては多大の苦痛を忍び、其の言ふがまゝに賣却處分致候へ共、今後は斯かる憂き目を見ずして泰然として市價昇騰を待ち除々出庫致され候間此の利益は甚大と存せられ候。弊方小作人に對しては本年よりは是非此の貯米袋の使用を命じ、共に其の福音に浴すべくと感喜に不堪候。此段詳細御報告旁々貴所の國家的事業に對し敬意を表明致し度如斯に御座候。早々

佐賀縣西松浦郡大坪村字町裏

大正十年十月一日

前田雄次郎

稻荷  
様印貯米袋製造元

大阪防水紙布製造所御中

佐賀縣下に於ける

## 稻荷様印貯米袋の實驗報告

附大分縣に於ける本品宣傳の實情

はしがき

### 一 模倣さるゝものゝ誇り

近來弊所發賣の稻荷様印貯米袋に倣ひ、保米袋、防蟲紙等と稱する類似品が續出して、何等實際的効果のないものが、誇大の廣告や印刷物を配附して居るさうであります。是れは一面に於いて弊所製品の眞價を立證するものでありまして、却つて模倣さるゝものゝ誇を感じずには居られぬのであります。元來弊所製品は、農商務省農事試験場に於いて試験の結果、既に玄米一石を精白にして、八升三合の利益を得ることを報告せられ、絶対に他の追従を許さざる優良品であることは、世間周知の事實であります。更に今回一層此事實を裏書きすべき新實驗の結果を御報告することを得るのは、弊所の無上の光榮とするところであります。

## 二、弊所製品發賣の主義方針

此光榮ある貯米袋實驗の御報告に先ち、一應弊所の主義方針を明らかにし、御需用家各位の御參考に供して置きたいと思ひます。是れは如何はしい類似模造品の簇出する今日、自信ある確實なる製造業者として忠實なる方法であります。弊所の貯米袋に對する研究は明治四十四年に始まり、大正八年に完成したのであります。此間多大の經費と時間を犠牲に供したことは、過去八年間の惡戰苦闘の跡を顧りみて頂きたいのであります。『自信のない製品は決して賣らない』と謂ふのが唯一の信條である弊所は此間タゞの一枚も賣つては居ないので、全部實驗の爲めに費やした數量は拾數萬枚に上り、何れも各地篤農家の實驗に提供して、忌憚なき批評を仰いだのであります。愈々自信ある發明が完成して、初めて農商務省農事試驗場に提出した供試品は、明らかに別掲の如く奇蹟的の成績を擧げ、晴天の霹靂として全國の反響を喚起したのであります。此間に工場設備の完成を急ぎつゝも、尙地方的に實地の試験を進めて今や全國到處に於いて本品の優良にして供給力豊富なることは、偏ねく確認せらるゝやうになつたのであります。大正八年賣り出し以來、一度使つた方は翌年必らず多數の注文を發せらるゝと謂ふ事實は本品の効果を最も眞實に且つ雄辨に立證して居るのであります。

## 佐賀縣西松浦郡大坪村篤農家 前田雄次郎氏方に於ける實驗

### 報告

(仁科秀雄手記)

#### 一、桑名博士の出馬迄

大正十年九月廿一日午後突然佐賀縣廳に伸を命じた私は、數分の後同縣會議事堂の一室に於いて、穀物病害蟲講習會講師として出張中の農商務省植物檢査所長農學博士桑名伊之吉先生と左のやうな會話を交換した。

仁科「誠に突然の御依頼であります、先生が此地方へお越しになつてゐます機會を利用して是非見て頂きもし、且つ御批評を仰ぎたいと思ふものがあります。是非御用濟の上は枉げて御願ひ致したいと思ひます」

博士「一体それは何ですか？」

仁科「穀物貯藏用の紙袋で稻荷様印で登録を受けて居ます貯米袋であります」

博士「貯米袋と謂へば自分の職掌柄深い交渉がある譯ですが、餘程變つたものですか？何處で製造したのですか？」

仁科「私の工場で製造したもので今迄は大げさの廣告等もして居ませんから、多分は御承知ないだらう

と思ひますが、其の品質に就ては明治四十四年來の研究の結晶でありまして一昨年漸やく自信ある品が完成して初めて賣り出したものであります」

博士「從來、私も種々な紙袋を見ましたが、何れも何等効果なしと云ふべきもので、從來の自分の立場としては反對の方ですが、貴方の方のも從來の保米袋や防蟲紙と謂ふものと大差ないものと思はれます。從來のものと變りないとすれば詰らぬ話で、態々實物を拜見する程のこともないですか」

仁科「製造人の私から彼是説明致しましたも我田引水の手前味噌に過ぎぬと思召されますかも知れませぬが私は先生が從來の類似品に對して、効果の如何はしいと云ふ点から、御反對の立場に在らせらるゝことも十分承知して居ます。其の承知してお願ひする点は特に御諒察を願ひたいと思ひます」

博士「假に私が出かけて實物を拜見するとしても、忌憚なく批評すると萬一不成績の場合は却つて君等の商賈の邪魔にこそなれ、決して利益にならぬではないか。止しにした方がよくはないかな？」

仁科「其處です。私が特に先生に見て頂きたいと云ふのは。只だ賣つた利益さへ得れば宜いと云ふのでしたら、先生のやうな危険な方には決して見て頂けません。私の方にも確乎たる自信がありますけれども、更に科學者の眼から見た欠点を改善して、所謂學理と實際を兼備した理想的優良品として社會に提供したいと謂ふ希望なんです。」

博士「從來の品でも最初の振れ出しは随分立派であるが、實際に使用した結果はトント詰らぬではないか。地主でもお百姓衆でも袋代は九損になつたと云ふのが多いから、大概君の方のも大同小異ではないかと思はれるのだが……」

仁科「私の方のは決して類似品の如き無責任なものではありません。〇〇防蟲紙の如きは高位高官の名前を金看板の如くに澤山ならべて廣告して居りますが、其の實地使用の結果なる農民側の立場から批評を聴きますと全然駄目です。眼前に斯う謂ふ實例があるので先生のお考へにも無理はありません。せぬが私の品は大丈夫ですから、是非其商品其物の健康診斷をしてやると云ふ御積りで見て頂きたいと思ひます。如何なる詰らぬ代物でも宣傳と廣告をすれば一度は可なりに賣れるものですが二度とは買つて呉れませぬ。萬一先生から詰らぬものだと御診察を受けた場合は明日から製造を中止します。要するに生命ある商品を買ふことは商人の本義ですから、御迷惑ではありませうが何とか御縁合はせ下さる譯には参りませぬか」

博士「左様云ふ決心と覺悟なら縣廳側の方さへ承知なら一應拜見しやうか」

仁科「縣廳の方は私が責任をもつて承諾を得ますから御安神下さい。誠に有り難うございました。」

## 二、佐賀から伊萬里迄

翌二十二日午後四時三十五分發の長崎行きには、豫定の如く桑名博士、田山佐賀縣技師、兒玉農事試



六  
驗場技手、松尾産業技手、山崎穀物検査所技手、諸石縣屬、戸上西松浦郡技手、井びに丁度來合はされ  
た櫻田西松浦郡長等の一行が、多大の興味を乗せて西下せられた。無論伊萬里町外の大坪村篤農家前田  
雄次郎氏方倉庫に於ける貯穀試験検証の爲めである。

二十一日午後佐賀縣會議事堂に於いて桑名博士と別れた私は、縣農務課の承認を得べく其経過を報告  
して陳情した。其結果は一外來人の言を信じ即座に決定も困難であるから、一應西松浦郡役所の方へ電  
話で照會し、果して斯うした貯穀の事實があるか否やを質し、且つ大体の模様も聞いた上にしやう。無  
論事實はあるが貯米袋そのもの、効果も無いと云ふやうな回答があつた場合には氣の毒であるが駄目  
であるから其の積りてゐてもらい度いこのことであつた。幸ひにして郡役所からの電話は有りしまゝの  
報告で、虚飾のない確實なものであつた。

斯うした前提の下に、愈々桑名博士外縣官諸氏の一行は出動せられた譯である、列車が伊萬里線分岐  
驛の有田へ着くと伊萬里ゆきには尙四十分の待ち合せ時間がある。豫て用意した自動車は、即座に警

笛絶ゆる暇もなく。ヒタ走りに走つて、黄金色の波を漂はせた稻田の間を、迂餘曲折三十分にして伊萬  
里町に着いた。薄曇つた初秋の空はいつしか暮れて早や電燈の光が軒並にキラツいてゐた。

### 三、實驗の光景

二十三日、夜來から氣遣はれた空は、遂に無遠慮な雨となつた。一行の蝙蝠や雨傘は町外づれとも謂  
ふべき大坪村前田雄次郎氏方へと續いた。前田氏は古る庄屋さんの家柄で、戸長さんの時代を経て最  
近迄村長さんを勤めてゐられた地方での地主、農事改良に熱心な篤農家である。昨年十月稻荷様印貯米  
袋の廣告を官報で發見された前田氏は、早速事實の試験に供すべく二十俵を申込まれ、昨年十二月二十  
日小作米の貯藏に使用せられたのでありました。而かも其内容米の品質は最下等で且つ乾燥程度も最悪  
なものであつた。此位の米が相當に保護せられるものであれば、普通の米質には十分の判断が與へられ  
ると謂ふので、特に劣悪なものを撰定せられたのであつた。

此の實驗は午前八時から初まつた、倉庫は可なり大きく供試品は俵であつた。先づ一端の一俵を開俵  
すると、内容米はサラ／＼と零れ初める。其の光澤は實に見事なものである。昨年十二月二十日から本  
日迄経過日數二百七十八日であるが、鶉の目鷹の目で探索しても遂に貯米袋の中には一匹の穀蠹をも認  
めず、米質は今摺米同様と云ふべき立派なものであつた。次に第二俵を開俵しても同じ結果であつた更  
に第三俵を解いたが何等の異状も認めない。

博士「大分此袋は従來のものより特長があるやうですが、貴方の方で使つて何年位持つ御見込みですか」

前田氏「其方は實際の経験ではないのですが、此の調子ですと三年も四年も繰り返し使用が出来るやうです。大切に始末すればそれ以上も持つかも知れません」

博士「従來種々なのを御使ひになりましたか？」

前田氏「種々なのを使ひましたが、結局効果はありません。俵をするのに直ぐ破れてしまいますから十分試験することも出来ません」

博士「普通の日本紙製のものもあるやうですが、此の成績はドウですか？」

前田氏「是處に散らばつて居りますのは一昨年迄使つたものですが、此の通り一回限りでズタ／＼に裂けてしまひます。其上斯う云ふ風に蟲に喰られますから、結局何にもならぬのです」と蟲穴が續いた日本紙製の袋を示さる」

博士「一体此位の米は何等米ですか」

山崎穀物検査所技手「先づ四等米となるのは最上等の部でせう。人に依れば不合格とするやうなものも大分交つて居り、全然不合格と認めるべきものもありません。斯う謂ふ風にチヨイ／＼塊りとなつてゐるのであるところを見ますと、餘程ヒマエ(乾燥)の悪い米であります」

博士「斯う云ふ風に俵の中で塊まる位乾燥不十分だと、山形から秋田地方では、全然微になつてゐるが……」と塊の一部分をとり、臭氣の有無やら外觀などを精細に検査せられ、

博士「別段變りはないやうだね。誰れか此塊の。部分と、塊つてゐない部分とを別々の状態に入れて殘して置いて呉れ給へ」

これは顕微鏡検査の材料であらう。内容米に異状のないことは畧ば確かめられた。科學的検査は機械や藥品を要する關係上、無論追つてのことである。博士は倉庫内の害蟲有無やら其の採集を若かい技手諸君に命ぜられた。俵の底から外側面にかけて緻密な調査の下に、あらゆる蟲共はピンセットに挟まれ、廓大鏡に晒され、一々身体検査の上標本瓶に收められた。俵の棧俵の部分には穀蟲共が大分巢造つてゐたが、袋を侵襲することは出来なかつたと見せ世界戦争に於ける獨逸人のやうに食糧攻めで困惑してゐたのは憐れであつた。蟲共にとつては、稻荷様印貯米袋は正に此垣一重が黒鐵の感があつたであらう。

博士「袋を使はないと何う云ふ結果ですか？」

前田氏「袋を使はぬと、七月頃からは大變の蟲で八月にもなれば棧俵の部分には一面の綴くりで、中の米は到底も助かりません。此の袋の要領ですと確かに俵で四五升は救はれるでせう」

博士「一体例年は何月頃迄小作米をお持ちですか？」

前田氏「長く持ちこたへて七月の末から、八月迄ですが、此試験に使つた米は宅の飯米であります」

それから種々の問答が交換せられたが、要するに稻荷様印貯米袋は、貯穀上従来の類似品とは比らべものにならぬ程度に、品質優良且つ耐久的で、殆んど理想に近いものであると謂ふ結論に達したのであつた。斯くの如き乾燥不十分の劣等米が、斯くの如き好成绩を示した眼前の事實には、立會の諸氏は舉つて驚嘆の聲を放たれると同時に賞讃の辭を惜しまれなかつたのであつた。

私は農商務省農事試験場の試験成績報告書を提出して、私の言論が誇大でなかつたことや、今回の検証が折角の期待に背かずに濟んだことから、更に農商務省農事試験場で試験の當時係員諸氏が供試米を試食された結果、風味が極めて快感を興へ何等異臭の伴はざることを證明せられた過去の事實などを、詳細に説明したのであつた。博士は従来にならぬ優良品であることを繰り返され、最後に此の新事業のため一層の努力奮闘を繼續すべく鞭撻せられたのであつた。私は博士の隔意なき御批評と深厚なる御同情に對し、萬腔の熱誠をもつて將來の成功を誓つたのであつた。

### 四、貯米袋に對する前田氏(貯穀者)の感想

博士一行の實地検証は大成功裡に結了した。貯穀者たる前田氏は果して如何の感想を保持せらるゝか、是れは私の一刻も早く聞き度い要件であると共に、需用家各位も亦痛切に希望せらるゝ問題であらうと思ひます。

仁科「此の貯米袋の利益と云ふことにつき御感想を拜聴したいと思ひます」

前田氏「無論是れ丈け蟲害から助かるのですから、其の金銭上の利益は大したものでありますと共に、金銭以外無形の國益は計算出来ぬ程であらうと思ひます」

仁科「特に地主としての利益につきましては？」

前田氏「地主としての利益は、先づ従来は所謂梅雨明けから目減りが甚しくなると云ふので、皆んな賣り急ぐ感があり、自然市場に出廻はる穀量が増加するから、値段は多くの場合低下する。斯う謂ふ次第で餘計に賣り急ぐ分量が殖ゆる程、価格は安くなります。此の袋に小作米を入れて蟲害の保障が出来れば何ンにも賣り急ぐ必要はなく、泰然として値頃を待つことが出来ます。其の差金は莫大なもので假りに石五圓の開きが生ずるとすれば、一俵あたりは貳圓に相當し、其上米質が變化せず量目が減つてゐないから、キット高價に賣れゆきます。其の金高まで加算すると、袋代は餘りに安きに過ぐるの結果となります。』

仁科「左様すれば袋代はまだ高くても引き合ふ譯ですな」

前田氏「餘り高いと亦一般の想ひつきが悪るいでせうが、事實算盤玉の上からは袋代に五十錢拂つても少しも苦痛とはならぬのであります。然し是れは内々の話ですよ」

仁科「是れ丈けの成績を挙げたのですから、内々で一つ特別に高價でお買上げが願ひ度いものですな。」

前田氏「實際斯うしてホントウの効果が認められた以上は、少し位高價でも構ひませんが、一般的に認識さすには餘程の御苦勞でしやう。本年からは私の小作米には全部使用させますが、尙懸念の先きへは勸める積りで居ります。」

仁科「穀物につく蟲の経過習性を見ますと、或るものは時に貯米袋を破つて入り込むことがありますから、絶對に凡ての場合を通じて防禦が出来るとは申しませぬが、従來の類似品に比して著るしく優良であることは確定した譯でありますから、ドウカ今後共御氣附の点は御叱正を願ひます。」

前田氏「無論、風土や氣候等の關係から、地方的にも害蟲の様子は違つてゐるかも知れません。全然蟲を寄せつけぬと謂ふことは、素人の謂ふことで、私共は信じて居ません。又一つも蟲の附かぬ様には望みません。私が今回試験に使つた米は、御覽の通りの下等米で乾燥は殊に悪るかつたのです。これで此位の好結果ですから畧ぼ考へはつく譯です。米質も損はず蟲も助かると謂ふのは、餘りに蟲がよすぎる話です。或る程度迄助かれば使用の目的は達するのです。變質せぬと謂ふことは、立派な事實です。夫れのみでも満足が出来ると譯です。」

雨は霽つた。淡い雲の絶間から爽やかな光線は流れるやうに落ちて來た。庭も狭にうなだれた白萩の優に濕つた情緒は、紀念すべき今日の愉快と共に私共の永く忘ることの出來ない想出の一つであります。

終りに臨み左に本試験立會に干與せられたる諸氏の芳名を録し、衷心より感謝の意を表します。

農商務省植物検査所長 農學博士 桑名伊之吉氏

佐賀縣産業技師 田山貢氏

佐賀縣西松浦郡長 樫田三郎氏

佐賀縣農事試験場技手 兒玉覺氏

佐賀縣穀物検査所技手 松尾英雄氏

全 上 山崎哲次氏

佐賀縣屬農務課員 諸石兵藏氏

佐賀縣西松浦農學校長 江口圓次郎氏

佐賀縣西松浦郡産業技手 戸上信次氏

稻荷 貯米袋佐賀長崎兩縣代理店主 松尾富一氏

様印 全佐賀縣郡特約店主 松尾權六氏

## 大分縣に於ける本品宣傳の實情

一四

### 一、ある防蟲袋を試用したが

由來大分縣でも豊後米は、市場に於ける位置が極めて低く、兎角の批評絶えざる遺憾があつた。大分縣穀物同業組合では此苦情を根絶し、品位の向上を計る爲めに、一昨年ある防蟲紙製の米袋を採用して農家に勧めた。穀物組合から縣穀物検査所へ其の有利を陳情し、内務部長は検査所長たる資格に於いて各郡村へ其の使用方を通牒せられ、穀物組合にては此袋を使つたものは高價に買入れるのみならず、共同購入で一定數量を買入れる場合は、買入代價の二割を補助すると云ふ段取りで、あらゆる機關の連絡の下に、約貳萬枚を試用せしめた。

### 二、其結果は案外駄目であつた。

昨年六七月を経過して開俵した結果は案外であつた。某所で試験せられた成績表と云ふ印刷物に示された四分の一の結果も見ることが出来ないのみならず、袋は俵装する時に、既にズタ／＼に裂けてゐたことも判つた。これでは專賣特許の權威も皆無だと謂ふので、農家側では随分と批難の聲が高く穀物同業組合でも、最初の聲明と實際の結果が、餘りに相違するので手古摺らざるを得ぬ破目となつた。縣穀

物検査所の方でも、折角の期待が裏切られたので、今後は新しいものにも容易に手を出されぬこと、所謂名士や高官の金看板でも一向アテにならぬことを経験された位が唯一の收穫であつたと今更の様に悔恨せられて居るのである。斯くして折角の宣傳も水泡に歸し、今は日光の前の土鼠の如く全く影を潜めてしまつたのである。如斯實際上の問題は一夜漬けの製品には免かるべからざる欠点である。と同時に多年の苦心と試練とを経なければ、眞實に優良な商品は産まれぬと謂ふ活きた教訓となることは疑ひないのである。

### 三、稻荷様印貯米袋は斯様な前轍

#### を踏むことは無い

本文に詳説した佐賀縣伊萬里町外に於ける桑名博士一行の實地検証報告は、大分縣穀物検査所や穀物同業組合等の心理状態に一變化を與へた。貯米袋を使用すると云ふ事に先鞭をつけられた諸氏は、確かに時代を理解せられた賢明な手段にあつたに違ひないが、只だ商品其物に瑕瑾があつた、ゆゑに、豫期せない不成功に終つた譯であるのは同情に堪へない處である。稻荷様印貯米袋は決して斯様な前轍を踏むことは無く、安神して使用が出来ると謂ふので、穀物同業組合では、矢張り買入補助と、高價買受の前例を此際活用したいと云ふ希望である。けれ共製造元や代理店の立場としては、昨年の類似品失敗の般



大正十年十月十五日印刷  
大正十年十月二十日發行

(非賣品)

編者	大塚康平
發行者	大阪府水紙布製造所研究部
印刷者	大塚康平

發行所

大阪府堺市外三寶村大字平田三番地  
大阪防水紙布製造所

電話一〇五五  
電報内線四八八一

鑑に顧りみ、譬へ本年度は買つて貰つても代金は收受せぬ。明年度開儀に際し其の偽らざる成績を確認された上で、初めて代金は受領すると謂ふ條件で賣り出すことに協定したのである。自信ある商品は決して強制や、急燥やを要しない。總て燎原の火の如く一舉風靡の機會に遭逢することは明らかである。或は今後如何なる方面に於いて、斯様な事情が再發するかも知れぬから此際一應弊所の意志のある處を公表し、需用家各位の御參考に供して置く次第であります。



鑑に顧りみ、譬へ本年度は買つて貰つても代金は收受せぬ。明年度開儀に際し其の偽らざる成績を確認された上で、初めて代金は受領すると謂ふ條件で賣り出すことに協定したのである。自信ある商品は決して強制や、急燥やを要しない。聽て燎原の火の如く一舉風靡の機會に遭逢することは明らかである。或は今後如何なる方面に於いて、斯様な事情が再發するかも知れぬから此際一應弊所の意志のある處を公表し、需用家各位の御參考に供して置く次第であります。

大正十年十月十五日印刷  
大正十年十月二十日發行  
(非賣品)

編著者 大阪府堺市外三寶村大字平田三番地 大阪防水紙布製造所研究部  
發行者 大阪府堺市外三寶村大字平田三番地 仁科秀雄  
印刷者 大阪府北區東梅ヶ枝町五四六番地 戸川清藏  
電話北六四八番

發行所 大阪府堺市外三寶村大字平田三番地 大阪防水紙布製造所

電話堺一〇五五番  
振替大阪四四八八一番

終

